

## セシル・B・デミル

Cecil B. DeMille

生年月日 1881/08/12

出身地 アメリカ／マサチューセッツ州アシュフィールド

没年 1959/01/21

関連人物 ウィリアム・C・デミル（兄）

## 【バイオグラフィ】

■本名はCecil Blount DeMille。兵学校に入学後、演劇学校に転校し、俳優として舞台に立つようになる。1913年にサミュエル・ゴールドウィンらの設立した会社で、ハリウッドで最初の長編映画と言われている“The Square Man”の演出を担当。16年よりパラマウントで監督・プロデューサーとして辣腕をふるった。第一次世界大戦後は風俗ドラマに力を入れ、23年の「十戒」よりスペクタクル路線に注力し超大作を次々と手掛けた。1902年に結婚、娘のキャサリンは一時アンソニー・クインと結婚していた。父親は戯曲を描いたり興行を手掛け、兄のウィリアムも劇作家で映画監督。

## 【フィルモグラフィ】

大海賊 (1958)	製作総指揮
十戒 (1956)	監督, 製作
地上最大のショウ (1952)	監督, 製作
サンセット大通り (1950)	出演
サムソンとデリラ (1949)	監督, 製作
征服されざる人々 (1947)	監督, 製作
軍医ワッセル大佐 (1944)	監督, 製作
絶海の嵐 (1942)	監督, 製作
北西騎馬警官隊 (1940)	監督, 製作
大平原 (1939)	監督, 製作
海賊 (1938)	監督, 製作
平原児 (1936)	監督, 製作
十字軍 (1935)	監督
クレオパトラ (1934)	監督
恐怖の四人 (1934)	監督
新世紀 (1933)	監督
暴君ネロ (1932)	監督, 製作
スコオ・マン (1931)	監督, 製作
マダム・サタン (1930)	監督
ダイナマイト (1929)	監督
破戒 (1929)	監督
キング・オブ・キングス (1927)	監督
ヴォルガの船唄 (1926)	監督
昨日への道 (1925)	監督
金色の寢床 (1925)	監督, 製作

勝利者 (1924)	監督
霊魂の叫び (1924)	監督
アダムス・リヴ (1923)	監督
十誠 (1923)	監督
愚か者の楽園 (1922)	監督
土曜日の夜 (1922)	監督
屠殺者 (1922)	監督
禁断の果实 (1921)	監督, 製作, 脚本
アナトール (1921)	監督
何故妻を換へる? (1920)	監督
人間苦 (1920)	監督
連理の枝 (1919)	監督
夫を変へる勿れ (1919)	監督
男性と女性 (1919)	監督
醒めよ人妻 (1918)	監督
浮世の常 (1918)	監督
情熱の国 (1918)	監督
囁きの合唱 (1918)	監督
小米国人 (1917)	監督, 製作
神に見離された女 (1917)	監督
孤松の栈道 (1916)	監督
チャンヌ・ダーク (前後篇) (1916)	監督
マリア・ローザ (1915)	監督, 製作
カルメン (1915)	監督, 製作
チート (1915)	監督
農場の薔薇 (1914)	監督, 製作, 原案
スコウ・マン (1914)	監督, 製作, 脚本